

No1地下貯水槽の検知孔移送ポンプからの漏洩事象について

2018年11月29日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製 転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. 発生概要

TEPCO

■ 事象概要

No1地下貯水槽において検知孔内の水を移送していた。
元請職員が現場を巡視していた際、移送ポンプの受け桝から溢水しているのを発見した。
その後、速やかにポンプを停止し溢水は停止した。

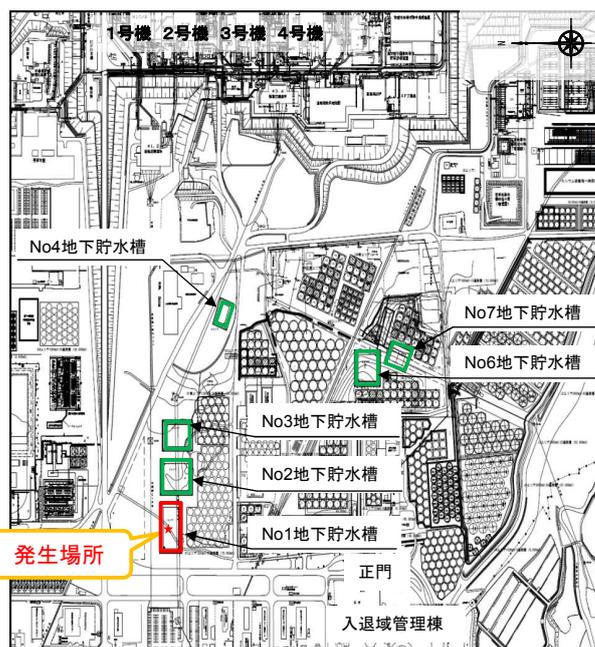
■ 場所 : No1地下貯水槽北側

■ 漏洩量と範囲 (推定)

最大 230 リットル , 約4m×約5mの範囲
漏洩水の分析結果 : Cs-134・137 : ND
全β : 7.3×10^4 Bq/L
H-3 : 1.244×10^2 Bq/L

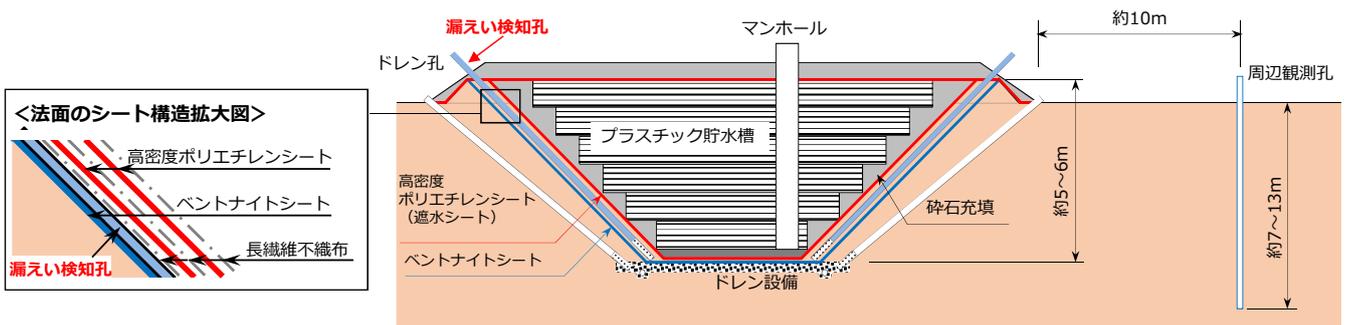
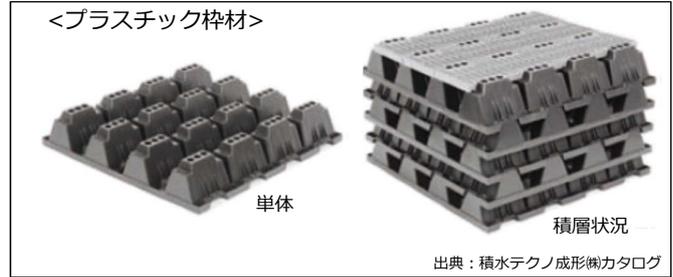
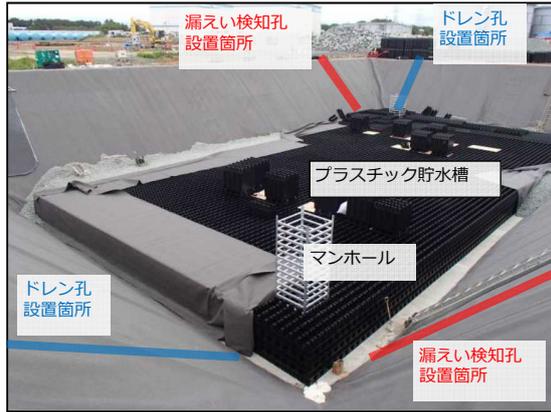
■ 時系列

7 : 05 朝礼・周知会・K Y
7 : 30 作業開始
7 : 45 検知孔からの揚水ポンプの発電機始動 (スタンバイ)
8 : 20 作業員が移送ポンプの運転を確認 (溢水なし)
8 : 25 元請職員が溢水を発見
8 : 30頃 ポンプを停止 (溢水停止)
11 : 43 類似ポンプの点検開始
12 : 20 類似ポンプ全数の点検完了
(当該箇所を除き、No1～3の計5箇所)

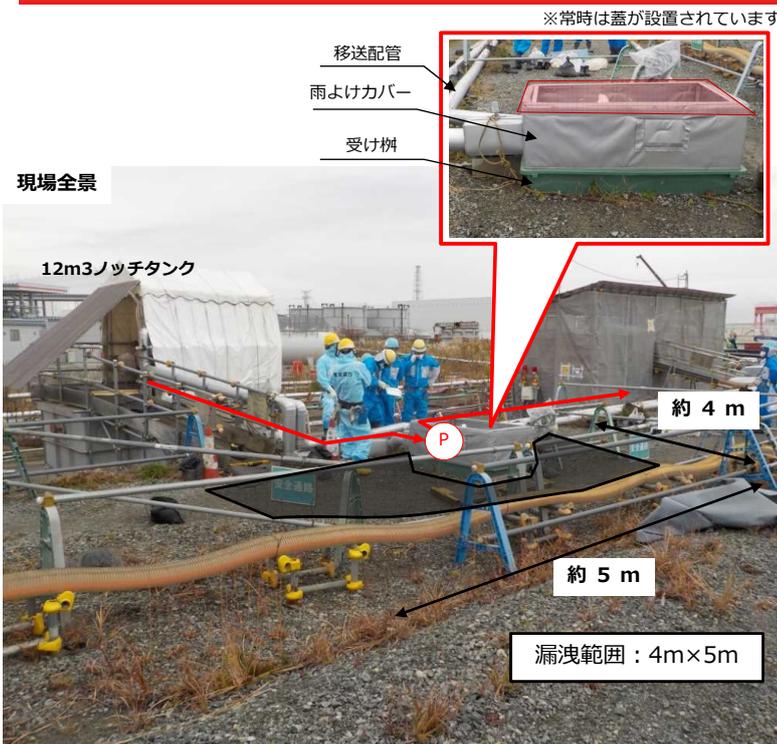


※ 地下貯水槽周辺観測孔のモニタリング値に特異な値は確認されていない (2018.11.28現在)

2. 地下貯水槽の構造



3. 漏洩状況の詳細



【漏洩状況】

No1地下貯水槽において検知孔内の水を移送していたところ、元請職員が現場を巡視していた際、移送ポンプの受け枱から溢水しているのを発見し、速やかにポンプを停止し溢水は停止した。

【原因】

- ・ 移送ポンプのドレンの閉止板が外れていた。
(閉止板のボルトが外れた原因は確認中)

【対策】

- ・ 受け枡内水について、回収作業の実施
(2018.11.26実施済み)
- ・ 浸透した周辺の土壌回収作業の実施
(現在、汚染範囲を調査中。
汚染が高い箇所から回収を速やかに実施)
- ・ 移送ポンプのドレン閉止部の補修の実施
(詳細検討中)

